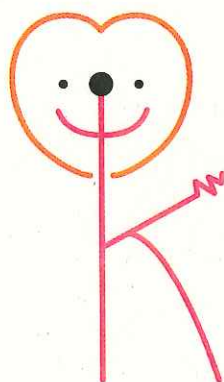


# 平成22年度 学生支援プロジェクト事業報告書

香大生の夢チャレンジプロジェクト  
2010



香川大学

まえがき

教育担当理事（副学長）

細川 滋

学生支援プロジェクト事業「香大生の夢チャレンジプロジェクト」は、学生の自主性、積極性、創造性等を高め、学生生活を活性化し、充実したものとするを旨と共、大学教育の改善を図ることを目的に、学長裁量経費（特定施策推進経費）による施策の一つとして平成18年度に設けられました。今年度で5年目となります。

これは、「地域に根ざした学生中心の大学」として、学生が学内外で積極的に活動できる機会を設けたいという考えから設けられたものです。したがって、支援の対象となるプロジェクトは、まず、学生自身が主体となって企画・立案した上で提案するものでなければなりませんし、加えて、魅力的・独創的であることが要求されます。

今年度は、16件のプロジェクト事業が採択されました。平成22年12月21日（火）には中間報告会が開催され、13件のプロジェクト事業について事業主体となった学生の皆さんがプレゼンテーションを行ってくれました。発表の仕方は、上手な学生、もう少し工夫があればと思わせる学生がいるなど、多様でした。実施されている内容そのものについても、なるほどと感心させられるものから、昨年度とほとんど変わらないという内容まで、多様であったという印象を受けました。中には、事業内容はもちろんのこと、プレゼンテーションについても、その見事さにおいて飛び抜けて目立ったものもありましたが。なお、中間報告を実施できなかったプロジェクトについては、何らかの対応が必要であるように思われます。

この度、成果報告書としてとりまとめましたので、地域活動・ボランティア活動等の自主的活動、地域との交流イベント等、大学教育の改善に貢献する活動等、多種多様な取組の成果をご覧頂くと共に、学生の皆さんには、今後の応募や企画の参考にして頂ければ幸いです。

なお、来年度の夢チャレンジプロジェクトについては、初期の目的に相応しい、チャレンジ精神に溢れた事業の提案を期待する一方で、5年間の実施状況を踏まえて、見直しが必要であるように思われます。ということから、来年度の実施に当たっては、この事業そのものの設立目的を再確認し、学生主体であることを再確認する必要があります。と同時に、正課外活動に重心を置いた採択基準に立ち返らなければならないとの思いを強くしています。

最後になりましたが、本事業の実施に当たって、ご協力、ご支援を頂いた地域の皆さまをはじめ、教職員・関係各位にお礼を申し上げます。

## 《目 次》

香川大学 瀬戸内国際芸術祭推進活動	1
救急蘇生ワークショップ～香川県の救命率向上に向けて	8
みんなで楽しむ音楽鑑賞会「第4回 わくわくコンサート」	13
香川大学三俣診療班の北アルプス診療活動における データベース治療マニュアルを用いた医療向上を目指して	22
高松まつり総踊り～これがおれたちの香川大学～	25
疾患を持つ子どもたちへの夢チャレンジサポートプロジェクト	28
地域に根付く医学展	31
ボランティアへ行こう！～双方向的高齢者福祉の芽生え～	35
「未来からの留学生」を成功させよう！！	40
ちびっこ教室 特別版	45
香川大学レスキューロボット開発プロジェクト	49
理科実験・ものづくり教育支援活動	52
手品でつくるその絆 ふくらめ バルーン、地域の輪	56
インターネットラジオを通しての地域貢献プロジェクト	61
香川大学オリジナルロボット開発プロジェクト	64
国際交流への The First Step～その一歩を踏み出そう	68

